

# ようこそ、土地改良区へ 〈小俣町土地改良区〉

## 【土地改良施設維持管理事業】



Before



After

### 1 地域の概要

当改良区は県の南部にあって、町域のほとんどが、平坦で起伏が少ない土地です。宮川の本線支線が流れているものの水利が悪く、土地改良以前は畑地の方が田地より多かったので、田の裏作ということもほとんど行われることがありませんでした。

昭和30年代の高度経済成長政策により、人手の多くがかかる畑作より稲作へ転向することにより現在では耕地の八割近くが田地となっています。

昭和45年国営宮川用水事業が行われ、平成4年に県営の支線水路のパイプライン化事業が完成し、耕地への給水が十分配水可能となりました。

地元の特産品であるイチゴ、トマト、メロン等のハウス栽培も盛んに行われています。

### 2 活動の経緯

平成17年市町村合併にともない伊勢市となり、合併以前は小俣町役場の中にあつた土地改良区を、明野土地改良区と併合して平成19年に新たに小俣町土地改良区として出発しました。

平成22年は、新設した小俣町土地改良区が受け皿となり、「水土里プロジェクトおばた」として、農家組合、水利組合、学校関係で組織を作り、田んぼアートを含む子供を主体とする活動を続けています。

### 【田んぼアート 2022】



### 3 今後の抱負

今農家は後継者不足が深刻な問題になっています。担い手の集積集約、遊休農地の解消を推進して、次世代の子供たちが将来の担い手になれるよう農業の振興を進めたいと思います。

